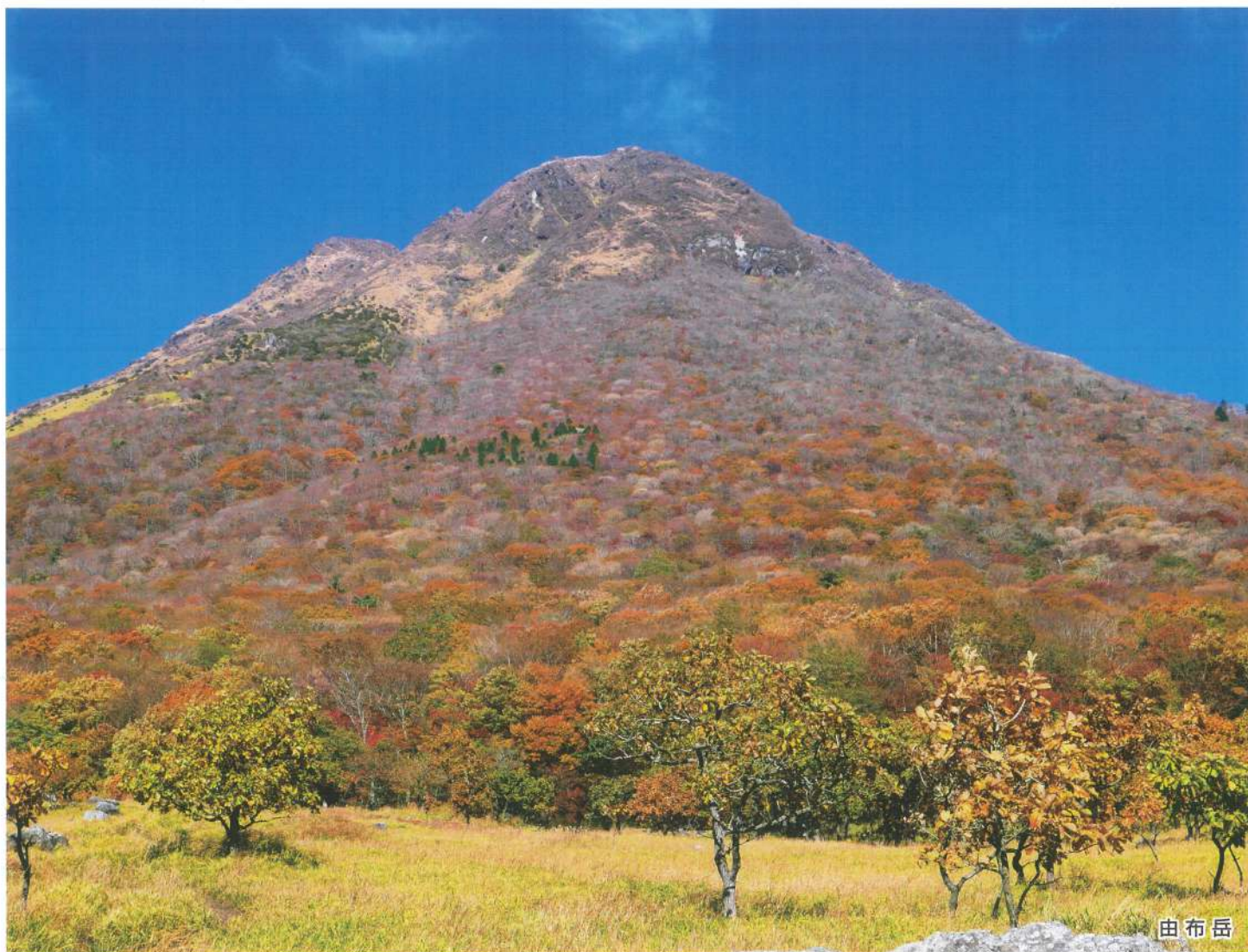


セント・ルカ産婦人科

LUKE MAGAZINE WINTER

ルカ新聞

No.36
2021.12.

由布岳

柘ぎ
榴くろ

何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある。
生まれる時、死ぬ時
泣く時、笑う時
求める時、失う時
黙する時、語る時
愛する時、憎む時
戦いの時、平和の時。
人が労苦してみたところで何にならう。
神はすべてを時宜にかなうように造り、また永遠を思う心を人に与えられる。

コヘレトの言葉3章1節-11節

今、世界中はコロナにおびえきっています。しかし考えてみればそのほかにも世界が直面している難問がいくつもあります。

まず、グローバル化という美しい言葉に飾られた新自由(資本主義)によって極端な「格差社会」が形成されたこと、SNSに象徴されるGAFAT(産業の野放し状態、民主主義を否定する専制(独裁)主義国家の台頭)などです。世界大戦が終わり、地域紛争のニュースくらいで直接感じるほどの危機感はなかった日本ですが、ここに至って実は深刻な事態が取り巻いていたことが発覚したといえます。G・オーウェルは70年前にすでにこれを感じ取っていました。出アフリカから10万年、ホモ・サピエンスは数々の危機を経て現在の繁栄を享受しているように見えますが、今、そして近未来はどのような「時」でしょうか。コヘレトは「神のなさる業を始めから終りまで見極めることは許されていない」と言います。未知の時でしょうか。ルターは「御恵みの御業によって」助けられることを信じた(詩編31章)。私たちも今がどのような時であったとしても神様からの積極的な御恵みを信じたい、そしていつかこのような難問が、神様からのお導きによって、私たち自身の知恵で解決できることを信じたいたいと思います。



巻頭言

副院長 伊東 裕子

今年も12月になり COVID-19が日本で少し落ち着いてきた矢先、南アフリカでオミクロン株なるものが登場しました。お参りやお手伝いなど何か丁寧語のようなオミクロンはすんなりと覚えることが出来てもその脅威は如何なるものか。2021年はやはり COVID-19に自由を奪われ新たな生活様式を作り出しました。そのような中、唯一幸いなことは患者さんご夫婦が話し合う時間を取れたことではないかと思えます。トランプ前米大統領は COVID-19を中国ウイルスと呼び、武漢が発生原因であるとの主張を繰り返しました。こんなにもはっきり発言してくれる人物はいませんが、大統領自身も感染し、世界中の人々が健康・経済・生活・社会など様々な感染症災害に見舞われたことを鑑みて、原因を明らかにすることも認める姿勢も見せてほしいものです。

しかし去年との違いはやはりワクチンの登場でしょう。人間の英知を集め人類が出会ったことのないウイルスとの闘いに全世界の人が向き合っています。日本でも2021年5月7日菅義偉前首相がワクチン接種1日100万回を目標とすると表明したときは、人口の3.1%しか接種していませんでしたが、12月5日現在でも1日20~30万回接種し高齢者92.0%、全体79.0%が1回以上接種できています(首相官邸公表)。公表された実績状況を見ると、回数はもとより高齢者や職域接種、3社の種類も把握できているところが日本のすごいところでしょう。今後3回目接種やこどもたちへの接種などの指針は研究によって導き出されるのもあり、第一線で対応して下さる感染呼吸器救急医療の方々とともに携わっているの方々、研究者の方々のご活躍にも感謝しかありません。

ワクチンといえば、HPVワクチンの積極推奨が来春再開されることが決まりました。厚生労働省は2013年に副反応が疑われる症状とワクチンとの因果関係について検討するため積極的な推奨を一旦差し控えました。その後日本および世界の研究から症状とHPVワクチンには因果関係を認めないことがわかりました。日本では子宮頸がんは年間約1万人が罹患し、約2,800人が死亡しています。HPVワクチンは子宮頸がんの発生を、その原因となるHPVの感染を予防することで防ごうというものです。最近の報告では、HPVワクチンと子宮がん検診を適切に組み合わせることで早期に開始したオーストラリアでは2028年に、また世界全体でも今世紀中の排除(症例数が人口10万あたり4人以下)が可能であるとのシミュレーションが出されました。日本も子宮頸がんの予防において世界の流れから取り残されてはいけません。

日本の生殖補助医療(ART)の環境は他国と異なり、37~38歳以上の高年齢者が多く、かつ、提供配偶子治療が少ないため、またいわゆる自然周期、低刺激周期ARTが多くを占めるため治療開始周期当たりの妊娠率が世界一低くなっています。これらの方法は、患者さんにとって採卵数の少ない高年齢に加え、低刺激で採卵回数が増えストレスの原因となり得ます。計画的な調節刺激法を行うことは、確実に健全な胚を移植することに繋がり、そしてそれは効率の良い治療が行われることで、時間と経費の節約につなが

ります。これらのコンセプトに基づいて着床前胚異数性検査 (Pre-implantation genetic testing for aneuploidy : PGT-A) の効果が期待され、2017年から1年かけてパイロットスタディが行われ、その結果、移植周期当たり妊娠率の向上および流産率改善が認められました。この結果を踏まえ現在大規模な臨床研究が進行中です。全国100施設以上が参加し、妊娠数1000例に達した時点で中間発表がなされ、その結果もまた妊娠率の向上、流産率の低下が認められました。特に高年齢者に有効のようです。実際にPGT-Aを行いその結果を患者さんと検討していると、医療側はその外見はきれいな胚の「真実」が見えて今後の治療の参考になり、患者さんは自分達の胚の「質」を客観的に知ることができて今後の治療の方向性を現実的に考える機会になるようです。何よりも治療時間の節約になります。PGT-Aの効果はただ単に妊娠率、流産率だけでなく、このような実際の臨床に与える深化のほうが高いように感じます。

さて、生殖医療の問題点の1つである治療費の負担を減らすということで、不妊治療の保険適用に向け動き出しています。当院では1996年より保険適用について署名活動を開始、全国の生殖施設に対し質問紙を配布し、2000年に元衆議院議員・前大分市長釘宮馨氏のご協力により院長の国会請願に繋がりました。2002年から2007年まで計5回の国会請願(署名46,729名)を経て、国が国会議員、厚生労働省担当者らとともに検討を重ね、その結果保険適用での対応は困難であり特定不妊治療助成金として治療費の軽減を図っていくことになりました。当院に限ってみても、患者が受けた不妊治療助成金額は初回である2004年度には大分県および市を含め合計320名、4640万円でしたが、2020年度は助成額の変更や助成可能な市町の増加もあり合計315名、1億3767万円という助成がなされています。永きに亘り様々なことを検討して開始となった特定不妊治療助成金を中止し、昨年政策として不妊治療の保険適用を掲げ、このことが少子化対策になるかどうかは不明ですが治療費の負担を減らそうと1年半で開始を目指しています。保険適用となれば助成金はゼロです。様々な条件が制限としてのしかかって、患者夫婦が困ることがあってはなりません。保険適用の開始にあたっては十分な検討ののち細かな部分も柔軟に対応しうるものにしなければならず、生殖医療に携わる我々は機会があれば声を届けて国からのサポートがより良いものとなるように働きかけていかなければならないでしょう。

今後ますます動きのある世の中に対応できるよう日々取り組んで参りますので、皆様のご指導ご支援のほどをお願い致します。

最後に、児童養護施設別府平和園はこの2年間コロナ感染者を出さず順調に活動しています。今年から新しい施設長(園長)と事務長を迎え建設的な将来計画に取り掛かりました。今後も皆様の暖かいご支援をよろしくお願い致します。





研 究 室



ヒト卵管内液組成類似培養液 (HiGROW OVIT) は、 比較的妊娠困難な患者さんの胚盤胞発生に効果的であることがわかりました

培養室 熊迫 陽子

ヒトの卵管内の組成を詳細に分析し忠実に再現し、受精卵の体外発育のための環境をより生理的なものに近づけたワンステップ国産培養液 (HiGROW OVIT：株式会社桑葉薬品工業) が販売されて4年が経過しました。

この HiGROW OVIT の臨床的有用性について、特に不妊原因に着目し比較検討しました。

その結果、「妻年齢が37歳以上」(表1)、または「男性因子」「原因不明」(表2)の患者さんにおいて、HiGROW OVITで培養することにより胚盤胞到達率、胚利用率(凍結あるいは移植に用いることができた胚の割合)が高く、良好な発育成績が得られました。

一方で、体外受精を行うことにより妊娠が比較的しやすい「子宮内膜症」「卵管因子」「PCO」の患者さんは、特に HiGROW OVIT で培養することの効果は認めず、対照培養液と同等の成績でした(表3)。

妊娠結果については、培養液間で違いは認められませんでした。



*表1～3：有意に差があった箇所は青字で記載しています

表1. 妻年齢別にみた培養および妊娠成績

	37歳未満		37歳以上	
	OVIT	対照培養液	OVIT	対照培養液
胚盤胞到達率 (%)	60.9 (1162/1908)	59.4 (1128/1900)	53.6 ^a (899/1678)	48.5 ^a (826/1702)
良好胚盤胞到達率 (%)	22.3 (426/1908)	20.2 (383/1900)	15.5 ^b (260/1678)	11.8 ^b (201/1702)
胚利用率 (%)	44.8 ^c (854/1908)	38.7 ^c (736/1900)	40 ^d (671/1678)	32.4 ^d (551/1702)
妊娠率 (%)	42.1 (189/449)	41.3 (162/392)	17.4 (85/488)	17.2 (74/431)

表2. 男性因子、原因不明因子患者さんの培養および妊娠成績

	男性因子		原因不明	
	OVIT	対照培養液	OVIT	対照培養液
胚盤胞到達率 (%)	62.8 ^e (290/462)	54.4 ^e (236/434)	57.9 ^f (438/757)	52.7 ^f (407/772)
良好胚盤胞到達率 (%)	21.2 (98/462)	17.1 (74/434)	19.9 (151/757)	17 (131/772)
胚利用率 (%)	44.6 ^g (206/462)	33.6 ^g (146/434)	43.5 ^h (329/757)	36 ^h (278/772)
妊娠率 (%)	35.7 (45/126)	34.8 (32/92)	28.5 (55/193)	28.5 (47/165)

a,b,c,d,g,h : P < 0.01, e,f : P < 0.05

表3. 子宮内膜症、卵管因子、PCO患者さんの培養および妊娠成績

	内膜症		卵管・卵管采		PCO	
	OVIT	対照培養液	OVIT	対照培養液	OVIT	対照培養液
胚盤胞到達率 (%)	55.8 (469/841)	57.6 (497/863)	58.3 (374/641)	57.1 (364/638)	65.4 (134/205)	63.5 (129/203)
良好胚盤胞到達率 (%)	19 (160/841)	17.6 (162/863)	19.5 (125/641)	18.5 (118/638)	23.9 (49/205)	20.7 (42/203)
胚利用率 (%)	41.4 (348/841)	38.4 (331/863)	42.9 (275/641)	37.6 (240/638)	48.7 (100/205)	39.9 (81/203)
妊娠率 (%)	34.9 (76/218)	36.2 (71/196)	30.3 (47/155)	28.3 (41/145)	40.9 (18/44)	50 (20/40)

ま と め

開発から製造まで国内で行っているワンステップ国産培養液 (HiGROW OVIT) は、完全にヒトの卵管内物質組成に近似させて開発された培養液であり、これまで胚培養の成績が上がりなかった患者さんに対して効果的な培養液であることが明らかになりました。

今後も、ひとりでも多くの患者さんに赤ちゃんが授かるように、培養液の能力を最大に生かせるような業務を行いたいと思います。

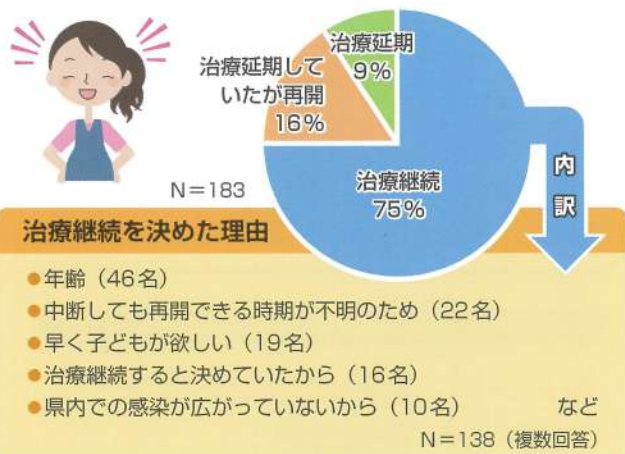
看護部

不妊治療における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響について

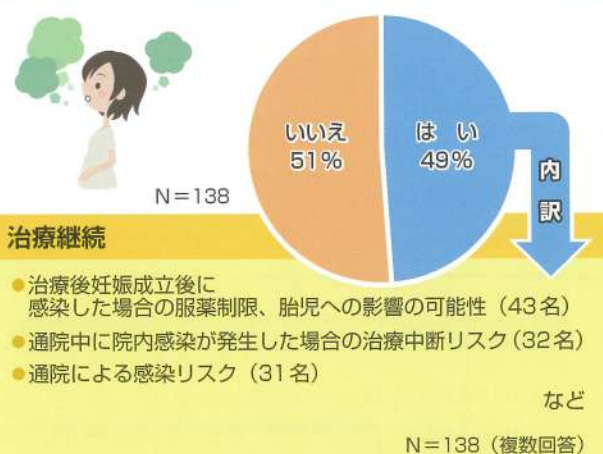
看護部 甲斐 忍

2020年4月より、当院では、新型コロナウイルス感染症に対しての日本生殖医学会での声明を受けて同意書の提出をお願いしています。そこで、2020年2月～6月までに当院で不妊治療を目的に通院していた患者様の不妊治療の継続、または延期、再開を決断した時の気持ちやその時の状況などに関するアンケート調査のまとめを報告します。

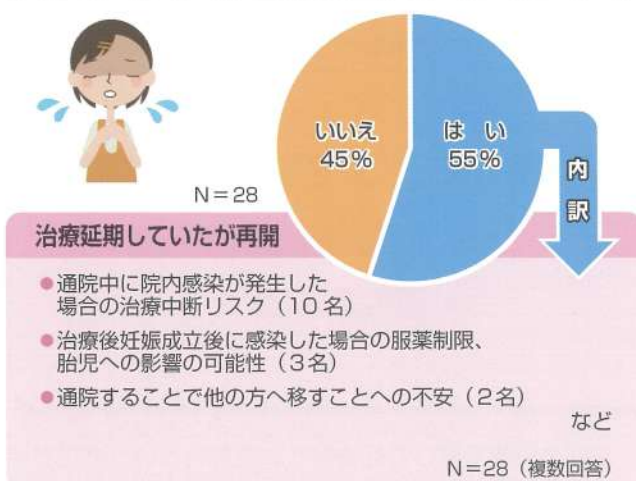
1.) 新型コロナウイルス感染症の急増による緊急事態措置の状況下での治療継続の有無



2.a) 治療継続を決めたときに不安や迷いがありましたか



2.b) 治療再開時に不安や迷いがありましたか



2.c) 治療中断時に不安や迷いがありましたか



COVID-19流行中に治療の継続、延期後に再開、治療中断の決断をした際に不安や迷いがあると答えた患者さんは半数をしめていました。

治療継続する患者さんはCOVID-19の不安を抱えながら治療をしていることを理解し、感染対策だけではなく、患者様の気持ちに寄り添い説明を十分に行うなど少しでも不安の緩和が出来るように今後も看護を行っていきたいと考えます。

これまで調査に協力してくださった、当院の患者さんに感謝致します。



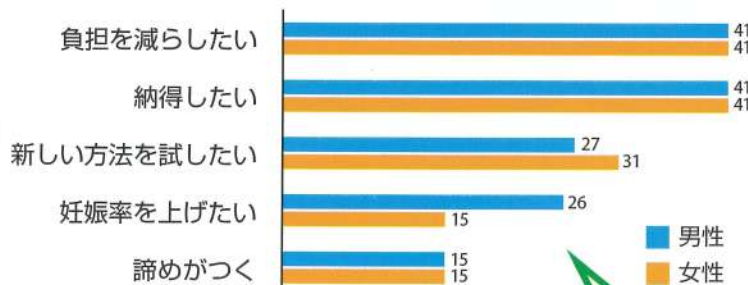
心理専門相談室



心理相談室 上野 桂子

コロナ感染症が人々の生活に大きな影響を及ぼした2021年でしたが、皆さんいかがお過ごしでしたでしょうか。心理相談室では、**PGT-A (着床前診断)**を希望される患者さんご夫婦に、これまでの治療経過やこの検査を希望される理由などについてお話を伺っています。今回、皆さんがお話くださった内容をまとめてみました。

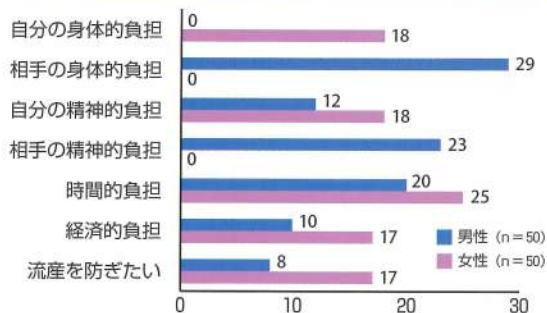
希望する理由



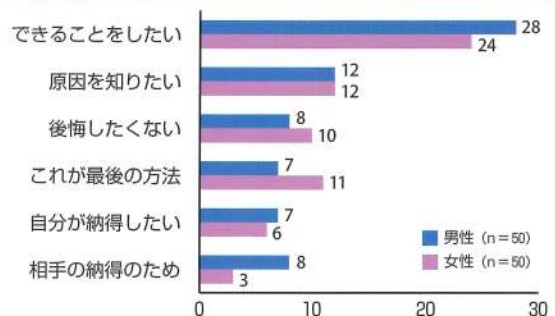
移植や流産の負担を減らしたい
できることは全てやって納得したい
と考えている方が多いことが分かり
ました



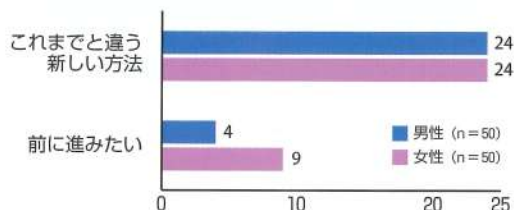
負担を減らしたい



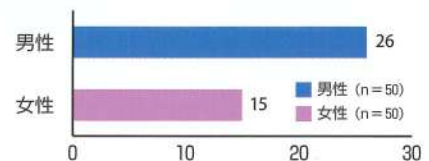
納得したい



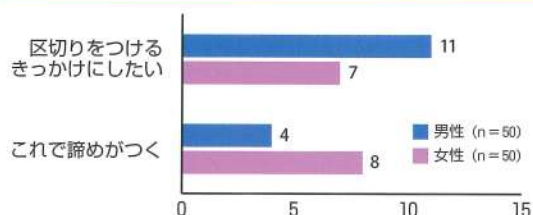
新しい方法を試したい



妊娠率を上げたい



諦めがつく



最新の治療を受けて妊娠率を上げたいという気持ちの一方で、納得して治療を終えて後悔なく今後の人生に踏み出すためにPGT-Aを希望されているという意見も多く聞かれました

患者さんの思いを大切に今後もカウンセリングを続けていきたいと思っております

気持ちが辛くなった時は、
どうぞ心理相談をご利用ください





受付



限度額適用認定証について

当院では、手術が決まった方へ限度額適用認定証の早目の申請をお願いしています。



高額療養費とは？

高額療養費とは医療機関や薬局窓口での支払額がひと月（月初めから月末まで）で一定額を超えた場合に、その超えた額を支給する制度です。

限度額適用認定証とは？

医療機関や薬局窓口に限度額適用認定証または限度額適用・標準負担額減額認定証（住民税非課税の方）を提示することで、窓口での支払額が自己負担限度額までとなります。

申請方法

限度額適用認定申請書を協会けんぽにご提出いただくと、1週間程度で限度額適用認定証が届きます。お手元に認定証が届きましたら、受付まで提出をお願い致します。

限度額適用認定証の手続き手順

- ① 保険証の保険者名称と記載がある箇所をご確認ください
- ② 保険者 → 協会けんぽの方 → 本人の方 → 勤務先又は協会けんぽへ申請
（全国健康保険協会） 家族の方 → 御主人の勤務先にて手続き又は協会けんぽへ申請
 保険者 → 協会けんぽ以外の方 → 所属の組合へ申請
（お勤め先により申請手続きが異なる場合がございます。申請方法は、各自でご確認をお願い致します）
 保険者 → 国民健康保険（国保）の方 → 各市町村の保険証交付窓口にて申請手続き
- ③ お手元に認定証が届きましたら、受付窓口までお願いします



全国健康保険協会（協会けんぽ）大分支部

〒870-8570 大分市金池南1-5-1

J:COM ホルトホール大分（MNC タウン2階）

医 局

昨年引き続き 気分だけでも世界旅行へ

世界ルカ歩き vol.2

これまでに学会で訪れた街の風景をお届けします
今はゆったりと眺めて世界をめぐるましょう



台湾 (斎藤仲道先生と)



スウェーデン・ストックホルム



スペイン・モンセラット



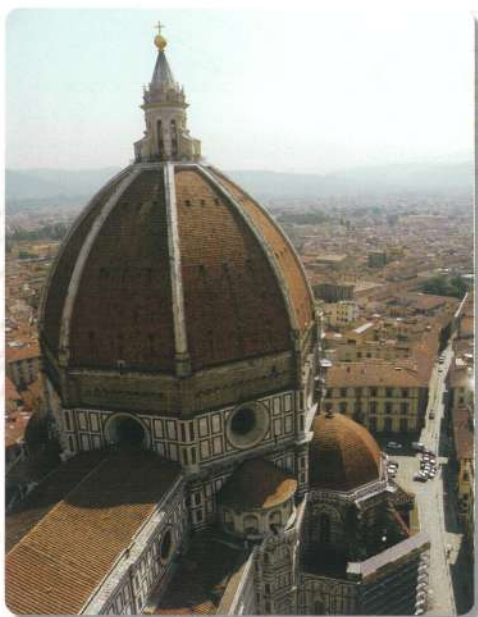
アメリカ・ハワイ



アメリカ・ニューヨーク



南アフリカ・ダーバン



イタリア・フィレンツェ



アメリカ・モニュメントバレー



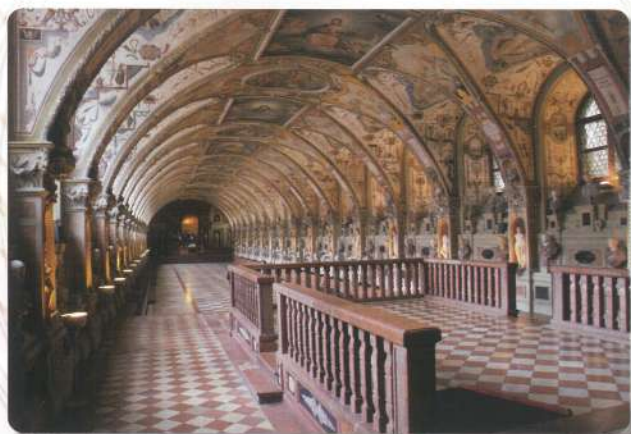
フランス・ジヴェルニー (モネの池)



ポルトガル・リスボン



フランス・パリ



ドイツ・ノイシュバンシュタイン城



トルコ・パムッカレ



厨 房



みなさんは自分のBMI（体格指数）知っていますか？

最近では、健康志向の方もいらっしゃるので、一度は計算してみた方もいるのではないのでしょうか？

$$\text{BMI} = \text{自身の体重 (kg)} \div \text{身長 (m)} \div \text{身長 (m)}$$

これを基に計算をしてみてください。
今の自分がどの基準にいいのか分かります。

(18～49歳の場合)

	BMI
低体重(やせ)	18.5未満
普通体重(目標とする範囲)	18.5～25未満
肥 満	25以上



切迫早産、早産、
貧血および低出生体重児分娩の
リスクが高い

炭水化物が好きな方は、ご飯の場合は玄米にしてみたり、白米に少しだけ雑穀を混ぜてみたり、麺の場合は麺の量を少し減らして、その分具材を増やしたりするのもよいのではないのでしょうか？

また、早食いの方はよく噛んで食べることが大切です。

しかし、食べても太らない方、食べなくても太ってしまう方と人によって様々です。

体重の変動が難しい方は、“**バランスのよい食事かつ適度な運動**”を心がけましょう！

妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、
帝王切開分娩、巨大児などの
リスクが高い



お魚レシピ

白身魚の味噌マヨ焼き

材 料

さわら — 4切れ
玉ネギ — ½玉
パセリ — 適宜

A

味 噌 — 小さじ4
マヨネーズ — 大さじ4
牛 乳 — 大さじ1
こしょう — 少々

ソースを作っ



オーブンで焼い

完成!



魚が苦手な方でも
これならきっと
食べられる!



*他の魚でやってもOK! パセリをバジルに変えても美味しいよ!

学会発表

今年も新型コロナウイルス蔓延防止のため学会は全てWEB開催、または現地とWEB両方での開催でした。

4/10 第16回九州産婦人科内視鏡手術研究会（福岡/WEB開催）

参加〈甲斐由、伊東、院長〉

発表：「腹腔鏡下子宮筋腫核出術と開腹子宮筋腫核出術とが及ぼす周産期予後の検討」（伊東裕子）

4/11 第77回九州・沖縄生殖医学会学術集会（WEB開催）

参加〈小林、後藤^香、坂本、薬師寺、川村、甲斐由、伊東、院長〉

発表：「ICMとTEの形態評価における着床率について」（小林あやね）
「胚移植時に得られた子宮内膜細胞を用いた着床関連遺伝子発現の検討」（後藤香里）
「不妊患者のサプリメント摂取に関する意識調査と当院における現状」（坂本順子）
「着床前胚異数性検査 PGT-A に対する意識調査」（薬師寺しおり）
「早発卵巣不全 (POI) 患者と更年期症状」（川村智恵）
「卵管鏡下卵管形成術の有用性の検討」（甲斐由布子）
「当院における PGT-A の有用性の検討」（伊東裕子）



6/25 第62回日本卵子学会学術集会（北海道/WEB開催）

参加〈小池、大津英〉

発表：「マウスを用いた抗がん剤(シクロフォスファミド)投与によるMⅡ期卵子紡錘体の形態評価への影響」
(小池恵)
「蛍光免疫染色とFISHの2重染色解析から得られたICMとTEの染色体数的異常率」（大津英子）

7/15 第39回日本受精着床学会総会・学術講演会（神戸/WEB開催）

参加〈小池、大津英、甲斐忍、坂本、甲斐由、津野、伊東、院長〉

発表：「マウスを用いた抗がん剤(シクロフォスファミド)投与によるMⅡ期卵子紡錘体の形態評価への影響」(小池恵)
「ヒト胚のICMとTEの染色体モザイク率の違い」(大津英子)
「不妊治療における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響について」(甲斐忍)
「女性不妊患者のサプリメント摂取に関する意識調査と当院における現状」(坂本順子)



9/11~9/14

第61回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会（JSGOE APAGE共催）（WEB開催）

参加〈伊東、院長〉

発表：「異所性妊娠における腹水中HCG値と腹腔鏡下手術治療の有用性」（伊東）

11/11 第66回日本生殖医学会学術講演会・総会（鳥取/WEB開催）

参加〈小林、小池、大津英、甲斐忍、坂本、津野、甲斐由、伊東、院長〉

発表：「抗がん剤(シクロフォスファミド)投与による凍結融解後マウスMⅡ期卵子紡錘体の形態評価への影響」
(小池恵)
「TEバイオプシーにて染色体モザイクと判定された胚のICMとTEの染色体数的異常率」(大津英子)
「不妊治療中の患者と新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による影響について」(甲斐忍)
「女性不妊患者のサプリメント摂取に関する意識調査と当院における現状」(坂本順子)

開院29周年記念

2021年6月3日

患者さんが安心して受診できる医療を目指します



開院から2020年12月までの成績

外来患者数 ————— 30,119人
 男性 ————— 11,288人
 女性 ————— 18,830人
 挙児希望女性数 ————— 14,598人

妊娠件数 ————— 9,590件
 妊娠に至らなかった女性 ————— 6,665人
 (うち、初診後1カ月以内の方42人)

患者あたりの妊娠率 ————— 54.2%

※治療を途中で諦めた女性 ————— 7,057人

【内訳】

諦めざるをえなかった
 (無精子症、早発閉経、高齢など) — 845人
 (転勤など) ————— 280人
 いつの間にか諦めた人 ————— 5,058人
 一度でも妊娠したが諦めた人 — 874人

実妊娠率 ————— 85.6%

(挙児希望の患者さんから初診後1カ月以内の人およびいつの間にか諦めた人と転勤などで転院した人を除いた妊娠率)

消防総合訓練

今年は3回(3月30日、6月15日、11月30日)消防総合訓練を実施しました。
 全スタッフが緊急時、迅速に対応できるよう、毎回火元と状況設定を変えて行っています。
 今後も継続して行っていききたいと思います。



新人紹介



津野 晃寿
【医局】

2021年6月に入職しました津野晃寿と申します。大分生まれでまだ男子校であった頃の岩田中学・高校出身者です。大分医科大学卒業後、同大学産科婦人科学講座に入局、15年程産婦人科全般の診療に従事し、その後、7年程県外で不妊診療に携わってきました。今年の6月から地元の大分に戻ってまいりました。今後は地元の大分の生殖医療の一助になれるよう日々頑張ります。エビデンスに基づき、わかりやすい診療を目指してまいります。よろしくお願いいたします。



高野 華恋
【看護部】

4月より入職しました。初めてのことで、先生や先輩方に指導いただきながら日々学んでいます。患者さんの思いに耳を傾け、患者さんの力となれるよう頑張ります。至らぬ点も多いとは思いますが、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



矢野 綾音
【研究室・培養室】

今年の4月から入職し、初めてのことで覚えることも多く、まだまだ緊張した日々を送っています。1日でも早く患者さんと病院のお役に立てるように精一杯努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



山本 佳子
【受付】

今年の2月に入職してから、沢山の学びを得て日々奮闘しています。まだまだ至らない点ばかりですが常に笑顔を中心掛け、診療や受付内の業務について勉強し、1日でも早く皆様のお役に立てるよう励みます。よろしくお願いいたします。



松元 恵利子
【看護部】

私事ですが、2020年5月に定年退職となりました。一旦退職の形を取り、その後継続して現在も働いています。セント・ルカで20年以上貴重な経験や感動をさせていただき心より感謝致します。またこれからも、皆さんの手助けが、微力ながらもできるように頑張ります。

再雇用

2021年を振り返って

01.15	福岡臨床遺伝研究会 (WEB 開催) 参加 (伊東、院長)	04.23	JISART 臨時理事会 (WEB 開催) 参加 (院長)
01.18	JISART 非配偶者間生殖医療検討委員会 第 1 回 検討委員会 (WEB 開催) 参加 (院長)	04.25	第 73 回 日本産科婦人科学会 倫理委員会企画 2 「着床前診断に関する倫理委員会からの説明会」 (WEB 開催) 参加 (院長)
01.18	第 12 回 遺伝医学セミナー入門コース (WEB 開催) 参加 (伊東、院長)	04.26	おおいたインフォメーションハウス株式会社 医療専門誌『大分の頼れるお医者さん 2021』取材
02.01	新職員 山本佳子 (受付)	04.27	ジネコの妊活セミナー 第 19 回 オンライン質問会 (WEB 開催) 講師 (院長)
02.02	AMED 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 苛原班 2020 年度 第 2 回 WEB 班会議 (WEB 開催) 参加 (院長)	05.07	福岡臨床遺伝研究会 (WEB 開催) 参加 (伊東、院長)
02.02	院内感染研修: 麻疹について (担当: 看護部)	05.09	第 4 回 JAPCO 全体会議 (WEB 開催) 参加 (院長)
02.05	福岡臨床遺伝研究会 (WEB 開催) 参加 (伊東、院長)	05.18	院内マネジメントレビュー
02.07	日本産科婦人科学会 第 3 部 PGT-M 倫理審議会 (WEB 開催) 参加 (院長)	05.27	大分県立看護科学大学講義 (WEB 開催) 参加 (則次、魚住、瀬戸口、山本、佐藤、三宮、矢野綾、渡辺、濱崎、高野) 講義: 「不妊症講座」 (院長)
02.07	令和 2 年度 大分県医師会母体保護法指定医師研修会 (大分) 参加 (甲斐由、伊東、院長)	05.31	PGT-M を考える有志の会 参加 (院長)
02.11	第 42 回 日本エンドメトリオーシス学会学術講演会 (WEB 開催) 参加 (院長)	06.01	新職員 津野晃寿 (医局)
02.20	第 74 回 JISART 理事会 (WEB 開催) 参加 (院長)	06.04	株式会社ジネコ フリーマガジン『ジネコ』秋号 (Vol.51) 取材
02.26	Ovarian Cancer Seminar in 大分 (大分 / WEB 開催) 参加 (院長)	06.04	福岡臨床遺伝研究会 (WEB 開催) 参加 (伊東、院長)
02.28	第 18 回 日本生殖心理学会・学術集会 (WEB 開催) 参加 (小池、雲井、坂本、薬師寺、後藤裕) 発表: 「PGT-A を希望する夫婦の語りの分析 - 夫婦それぞれの PGT-A にこめる思い -」 (雲井小夜子)	06.05	第 75 回 JISART 理事会及び理事長選挙 (WEB 開催) 参加 (院長)
03.01	新職員 則次美絵 (情報処理室)	06.05	2021 年度 JISART 定期総会 (WEB 開催) 参加 (院長)
03.05	日本生殖心理学会 2020 年度 資格継続研修会 (WEB 開催) 参加 (小池、雲井、坂本)	06.05	第 12 回 JISART 心理教育セミナー (WEB 開催) 参加 (上野)
03.09	株式会社ジネコ フリーマガジン『ジネコ』夏号 (Vol.50) 取材	06.06	第 18 回 JISART シンポジウム (WEB 開催) 参加 (青木、城戸、松土、上野)
03.13	第 5 回 せとうち ART 研究会 (WEB 開催) 参加 (熊迫) 講師: 「安全性を重視した閉鎖系胚凍結の方法とその意義」 (熊迫陽子)	06.12	第 13 回 JISART 医療事務教育セミナー (WEB 開催) 参加 (青木、越名)
03.24	日本受精着床学会 2020 年度 第 3 回 常務理事会 (WEB 開催) 参加 (院長)	06.15	日本受精着床学会 2021 年度 第 1 回 常務理事会 (WEB 開催) 参加 (院長)
03.26	第 249 回 大分市医師会産婦人科臨床検討会 (WEB 開催) 参加 (伊東、院長)	06.15	院内全体研修: 避難訓練 (担当: 厨房、情報処理室)
03.30	院内全体研修: 避難訓練 (担当: 看護部)	06.19	日本生殖心理学会 2020 年度 第 2 回 理事会・総会 および 第 3 回 理事会 (WEB 開催) 参加 (院長)
03.30	院内安全管理研修: Wi-Fi のメリットと危険性について (担当: 情報処理室)	06.19	第 13 回 JISART ラボ教育セミナー (WEB 開催) 参加 (城戸) 発表: 「パイオプシーの実際と注意点」 (城戸京子)
04.01	新職員 高野華恋 (看護部)、矢野綾音 (研究室・培養室)	06.22	院内全体研修: 患者接遇 (担当: 受付)
04.01	日本生殖医学会 生殖医療コーディネーター (薬師寺しおり)	06.25	第 62 回 日本卵子学会学術集会 (北海道 / WEB 開催) 参加 (小池、大津英) 発表: 「マウスを用いた抗がん剤(シクロフォスファミド)投与による MII 期卵子紡錘体の形態評価への影響」 (小池恵)
04.09	福岡臨床遺伝研究会 (WEB 開催) 参加 (伊東、院長)	06.26	第 17 回 JISART 看護教育セミナー (WEB 開催) 参加 (松土)
04.10	第 16 回 九州産婦人科内視鏡手術研究会 (福岡 / WEB 開催) 参加 (甲斐由、伊東、院長) 発表: 「腹腔鏡下子宮筋腫核出術と開腹子宮筋腫核出術とが及ぼす産期予後の検討」 (伊東裕子)	07.02	福岡臨床遺伝研究会 (WEB 開催) 参加 (伊東、院長)
04.11	第 77 回 九州・沖縄生殖医学会学術集会 (WEB 開催) 参加 (小林、後藤香、坂本、薬師寺、川村、甲斐由、伊東、院長) 発表: 「ICM と TE の形態評価における着床率について」 (小林あやね) 「胚移植時に得られた子宮内膜細胞を用いた着床関連遺伝子発現の検討」 (後藤香里) 「不妊患者のサプリメント摂取に関する意識調査と当院における現状」 (坂本順子) 「着床前胚異数性検査 PGT-A に対する意識調査」 (薬師寺しおり) 「早発卵巣不全 (POI) 患者と更年期症状」 (川村智恵) 「卵管鏡下卵管形成術の有用性の検討」 (甲斐由布子) 「当院における PGT-A の有用性の検討」 (伊東裕子)	07.08	株式会社ジネコ プレジネコ WEB 取材
04.15	第 8 回 提供配偶子を用いる生殖医療に関する検討委員会 (WEB 開催) 参加 (院長)	07.15	第 39 回 日本受精着床学会総会・学術講演会 (神戸 / WEB 開催) 参加 (小池、大津英、甲斐忍、坂本、甲斐由、津野、伊東、院長) 座長: 教育講演 6 「家畜繁殖学研究の最先端 ~基礎から臨床へ~」 (院長) 発表: 「マウスを用いた抗がん剤(シクロフォスファミド)投与による MII 期卵子紡錘体の形態評価への影響」 (小池恵) 「ヒト胚の ICM と TE の染色体モザイク率の違い」 (大津英子) 「不妊治療における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響について」 (甲斐忍) 「女性不妊患者のサプリメント摂取に関する意識調査と当院における現状」 (坂本順子)
04.19	新職員 濱崎聖子 (看護部)	07.18	令和 3 年度 大分産科婦人科学会・大分県産婦人科医会総会 (WEB 開催) 参加 (甲斐由、津野、伊東、院長)
04.22	第 73 回 日本産科婦人科学会学術講演会 (新潟 / WEB 開催) 参加 (甲斐由、伊東、院長)	07.26	2021 年度 第 1 回 PGT-A に関する小委員会 (WEB 開催) 参加 (院長)
		07.27	院内感染研修: 新型コロナウイルスワクチンについて (担当: 看護部)
		08.06	福岡臨床遺伝研究会 (WEB 開催) 参加 (伊東、院長)
		08.31	院内全体研修: アレルギーについて (担当: 厨房)

<p>09.03 福岡臨床遺伝研究会 (WEB 開催) 参加 (津野、伊東、院長) 09.03 第251回 大分市医師会産婦人科臨床検討会 (大分 / WEB) 参加 (甲斐由、津野、伊東、院長) 09.04 第76回 JISART 理事会 (WEB 開催) 参加 (院長) 09.04 日本生殖心理学会 2021年度 (第18期) 生殖医療相談士養成講座 (WEB 開催) 参加 (甲斐忍、長木) 09.07 AMED 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 苛原班 2021年度 第1回 WEB班会議 (WEB 開催) 参加 (院長) 09.07 2021年度 第2回 PGT-A に関する小委員会 (WEB 開催) 参加 (院長) 09.11 ~14 第61回 日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 (JSGOE APAGE 共催) (WEB 開催) 参加 (伊東、院長) 発表: 「異所性妊娠における腹水中HCG値と 腹腔鏡下手術治療の有用性」 (伊東) 09.13 株式会社ジネコ フリーマガジン「ジネコ」冬号 (Vol.52) 取材 09.17 2021年度 第3回 PGT-A に関する小委員会 (WEB 開催) 参加 (院長) 09.19 第27回 出生前から小児期にわたるゲノム医療フォーラム (WEB 開催) 参加 (院長) 09.23 日本産科婦人科学会倫理委員会 第1回 PGT-A・SR 臨床研究に関する公開シンポジウム (WEB 開催) 参加 (院長) 09.28 院内全体研修: モチベーション維持について (担当: 看護部)</p>	<p>11.05 福岡臨床遺伝研究会 (WEB 開催) 参加 (津野、伊東、院長) 11.11 第66回 日本生殖医学会学術講演会・総会 (鳥取 / WEB) 参加 (小林、小池、大津英、甲斐忍、坂本、津野、甲斐由、 伊東、院長) 発表: 「抗がん剤 (シクロフォスファミド) 投与による 凍結融解後マウス MII 期卵子紡錘体の 形態評価への影響」 (小池恵) 「TE バイオプシーにて染色体モザイクと判定 された胚の ICM と TE の染色体数的異常率」 (大津英子) 「不妊治療中の患者と新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) による影響について」 (甲斐忍) 「女性不妊患者のサプリメント摂取に関する 意識調査と当院における現状」 (坂本順子)</p>	<p>11.16 院内マネジメントレビュー 11.30 院内全体研修: 避難訓練 (担当: 研究室・培養室) 12.03 福岡臨床遺伝研究会 (WEB 開催) 参加 (津野、伊東、院長) 12.04 おおいたインフォメーションハウス 「大分の妊活事情について」取材 12.04 第77回 JISART 理事会 (WEB 開催) 参加 (院長) 12.08 株式会社ジネコ フリーマガジン「ジネコ」春号 (Vol.53) 取材 12.17 第8回 里親・養子縁組の説明会 ～不妊治療を経て里親・縁組をされた方のお話～ 参加者14名 12.17 第7回 日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会 (大阪 / WEB 開催) 12.18 日本生殖心理学会 2021年度 (第18期) 生殖医療相談士養成講座 (WEB 開催) 参加 (甲斐忍、長木) 12.21 院内感染研修: 感染症について (担当: 看護部)</p>
<p>10.01 新職員 奥村美紗葵 (情報処理室) 10.01 福岡臨床遺伝研究会 (WEB 開催) 参加 (津野、伊東、院長) 10.04 第7回 PGT-M 有志の会 (WEB 開催) 参加 (院長) 10.06 2021年度 第4回 PGT-A に関する小委員会 (WEB 開催) 参加 (院長) 10.10 JISART 施設認定オンライン審査 クローリング会議 10.12 PGT-A 特別臨床研究連絡会 (WEB 開催) 参加 (院長) 10.12 院内全体研修: 心肺蘇生法 (担当: 看護部) 10.13 日本人類遺伝学会 第66回大会 (WEB 開催) 参加 (伊東、院長) 10.15 第11回 大分産婦人科手術研究会 (大分) 参加 (津野、院長) 10.16 日本生殖心理学会 2021年度 (第18期) 生殖医療相談士養成講座 (WEB 開催) 参加 (甲斐忍、長木) 10.23 日本産科婦人科学会倫理委員会 第2回 PGT-A・SR 臨床研究に関する公開シンポジウム (WEB 開催) 参加 (院長) 10.29 2021年度 第5回 PGT-A に関する小委員会 (WEB 開催) 参加 (院長)</p>	<p>10.01 新職員 奥村美紗葵 (情報処理室) 10.01 福岡臨床遺伝研究会 (WEB 開催) 参加 (津野、伊東、院長) 10.04 第7回 PGT-M 有志の会 (WEB 開催) 参加 (院長) 10.06 2021年度 第4回 PGT-A に関する小委員会 (WEB 開催) 参加 (院長) 10.10 JISART 施設認定オンライン審査 クローリング会議 10.12 PGT-A 特別臨床研究連絡会 (WEB 開催) 参加 (院長) 10.12 院内全体研修: 心肺蘇生法 (担当: 看護部) 10.13 日本人類遺伝学会 第66回大会 (WEB 開催) 参加 (伊東、院長) 10.15 第11回 大分産婦人科手術研究会 (大分) 参加 (津野、院長) 10.16 日本生殖心理学会 2021年度 (第18期) 生殖医療相談士養成講座 (WEB 開催) 参加 (甲斐忍、長木) 10.23 日本産科婦人科学会倫理委員会 第2回 PGT-A・SR 臨床研究に関する公開シンポジウム (WEB 開催) 参加 (院長) 10.29 2021年度 第5回 PGT-A に関する小委員会 (WEB 開催) 参加 (院長)</p>	<p>共著 (院長) 「⑧胚移植法」『Perfect Guide for Fertility Preservation - 妊孕性温存のすべて -』 (中外医学社) 「培養液の基本」『ART ラボ必携 生殖補助医療の必修知識とラボテクニクの伝承 (仮称)』 (中外医学社) (印刷中) 「PGT の種類とその方法と安全性 (長期的予後)」『生殖医療遺伝カウンセリングマニュアル』 (中外医学社) 「着床前スクリーニングとはどのような検査ですか? 検査すれば確実に妊娠できるかわかりますか?」『産婦人科 患者説明ガイド - 納得・満足を引き出すために』 臨床婦人科産科 2021年増刊号 (医学書院) 「受精の判定とその異常」『受精とその障害 ~ 生殖医療フロントライン ~ MOOK 企画 生殖医療フロンティア 2号 (仮称)』 (中外医学社) (印刷中) 「44. 腹腔鏡検査の意義と適応 - 体外受精を見据えて」『最新の不妊症診療がわかる! - 生殖補助医療を中心とした新たな治療体系』 臨床婦人科産科 2022年増刊号 (医学書院) (執筆中) (大津英子) 「凍結受精卵・配偶子の管理方法」『ART ラボ必携 生殖補助医療の必修知識とラボテクニクの伝承 (仮称)』 (中外医学社) (印刷中)</p>
<p>11.05 福岡臨床遺伝研究会 (WEB 開催) 参加 (津野、伊東、院長) 11.11 第66回 日本生殖医学会学術講演会・総会 (鳥取 / WEB) 参加 (小林、小池、大津英、甲斐忍、坂本、津野、甲斐由、 伊東、院長) 発表: 「抗がん剤 (シクロフォスファミド) 投与による 凍結融解後マウス MII 期卵子紡錘体の 形態評価への影響」 (小池恵) 「TE バイオプシーにて染色体モザイクと判定 された胚の ICM と TE の染色体数的異常率」 (大津英子) 「不妊治療中の患者と新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) による影響について」 (甲斐忍) 「女性不妊患者のサプリメント摂取に関する 意識調査と当院における現状」 (坂本順子)</p>	<p>11.05 福岡臨床遺伝研究会 (WEB 開催) 参加 (津野、伊東、院長) 11.11 第66回 日本生殖医学会学術講演会・総会 (鳥取 / WEB) 参加 (小林、小池、大津英、甲斐忍、坂本、津野、甲斐由、 伊東、院長) 発表: 「抗がん剤 (シクロフォスファミド) 投与による 凍結融解後マウス MII 期卵子紡錘体の 形態評価への影響」 (小池恵) 「TE バイオプシーにて染色体モザイクと判定 された胚の ICM と TE の染色体数的異常率」 (大津英子) 「不妊治療中の患者と新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) による影響について」 (甲斐忍) 「女性不妊患者のサプリメント摂取に関する 意識調査と当院における現状」 (坂本順子)</p>	<p>論文 (院長) 「Creation, effects on embryo quality, and clinical outcomes of a new embryo culture medium with 31 optimized components derived from human oviduct fluid: A prospective multicenter randomized trial」 (投稿準備中) (後藤香里) 「The Possibility of Analyzing Endometrial Receptivity Using Cells from Embryo Transfer Catheters」 Reproductive Sciences (2021) 28:2623-2629</p>

妊娠報告件数
(2020.11.1~2021.10.31)
体外受精、顕微授精等
199件
*
その他 (体外受精以外)
106件
計 **305件**

編集後記

今年も新型コロナウイルス蔓延防止のための自粛生活で終わってしまいました。来年こそはワクチンや新薬のおかげでもう少し生活しやすくなってほしいと思います。

また、30周年にむけて一人でも多くの患者さんが赤ちゃんを授かれるようスタッフ全員が力を合わせて頑張っていきたいと思います。